



申15号

提出！

統括センター化施策実施に関する申し入れ

社員一人ひとりの活躍できる場、チャレンジできる場を広げること”と”社会の激しい環境の変化に合わせ、これまで以上に効率良く業務を進めやすくすること”を目指して「融合と連携」を進めるべく、八王子支社では3月に立川・豊田・八王子の3つの統括センター設置が行われ、社員の働き方が大きく変えられようとしており、1月には『八王子支社の現業機関における柔軟な働き方の実現について』という社員説明資料が発出されました。

一方職場では、統括センター化直前の現在でも具体的な説明はなく、示された資料でも社員が具体的にどのような働き方をするかについてイメージのみが示されるだけであることから、社員は今後具体的にどのような働き方をしていくのかについて分からないことだらけである現実に対して大きな不安を抱えています。

輸送サービス労組八王子地本は、“ワーキンググループ等の一部社員だけで進めるのではなく現場で働く社員の声を広く聞くこと”“施策を足早に進めるのではなく、成果と課題を明確にする等の総括を現場で働く社員の声に基づき丁寧に行ったうえで新たな施策ではなく現施策の課題解消を達成すること”等を繰り返し求めてきましたが、会社は施策を進めながら課題解決を目指していくとの回答に終始し、労使の認識は対立状態にあります。

施策を担うのは現場で働く社員です。その社員の声を広く聞き、施策を進めていくことは至極当然のことであり、現場で働く社員の理解なしでは社員の働きがい向上や施策目標達成はできません。このことから下記の通り申し入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

記

1. 「鉄道オペレーションの融合と連携として安全・安定輸送の確保と質の高いサービスの提供をさらに磨き上げる」とあるが、具体的にどのようなことを実施していくのかを明らかにすること。
2. 「組織横断PTのノウハウをユニットに移管」「ユニット内での役割を明確化し、チームリーダーを中心に、よりスピーディーに経営課題を社員の発意により解決」が、上記の変更を実施する理由と具体的にどのようなことを実施していくのかを明らかにすること。
3. フレキシブルな対応として「親和性の高い職場には兼務を行い、モビリティサービス各拠点の更なる融合と連携を実現」とあるが、統括センターの乗務員が具体的にどのようなことを実施していくのかを明らかにすること。また、営業社員に新たに兼務発令をする理由と同社員が具体的にどのようなことを実施していくのかを明らかにすること。
4. 統括センターの乗務員に対して融合行路を設定している理由と同社員が融合行路で具体的にどのような業務を担うのかを統括センター毎に明らかにすること。
5. 管理者に役割として担務の一部変更を実施する理由を明らかにすること。